



エコム社員が語る今月のコラム

皆さん今日は！営業部グループリーダーの鈴木祥吾です。今年も6月に入り、これからいよいよ夏！皆さんはこれからのシーズン、どう過ごされますか？
私は平日は仕事(?)、休日はサッカーに打ち込みます。実は私、小学校2年生の時からサッカーを始め、今でも現役！現在は浜松市父親サッカーリーグに所属、さらにプライベートだけでは飽き足らず会社でもフットサルチームを結成、フットボールコミュニティ浜松にも定期的にエントリーしています。皆様もぜひ一緒にいかがですか？それでは今月の熱技術ニュースです！

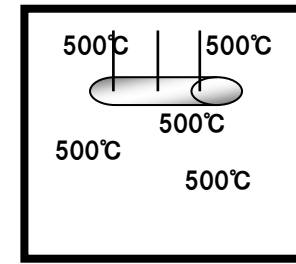
特殊材料の熱処理ならエコムにお任せ！「アルミ編」

アルミニウムの熱処理はなぜ難しいのか？
アルミ(AC4、AC8、ジュラルミン等)の熱処理が難しいのは、ワークに対して均一に熱をかけることが難しいというのがその理由です。
エコムの解決策は？
熱処理の基本は「昇温」「均熱」。つまり、いかに早く温度をあげ、かつ均一に熱を伝えるかなのです。
そのためにエコムでは「時短炉」の考え方で、ワークだけをいかに早く、いかに均一に必要な温度に持っていかを考えます。

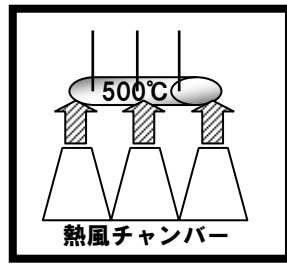
「電気からガス」への燃料転換もエコムにお任せ！

電気炉並の効率をガス炉で実現しませんか？
電気炉からガス炉への置き換えも、エコムの省エネバーナー エコネクストを使えばより省エネ。熱交換器で廃熱を再利用する構造なので、ガス炉で問題になる廃熱の課題を最小限に。
炉内温度1000℃に対して、廃熱温度400℃。燃料節約率35%以上の画期的なバーナーです。これで燃料転換も実現！

<従来の炉の考え方>



<時短炉の考え方>



上図の通り、従来の炉では炉内全体を500℃に上げるという考え方でした。これは「昇温」「均熱」両方の観点で問題があります。それに対してエコムの時短炉の考え方では、ワークのみを必要温度にしますので、特にアルミの熱処理には効果的です。この時短炉による特殊材料熱処理こそがエコムのノウハウであるといえます。

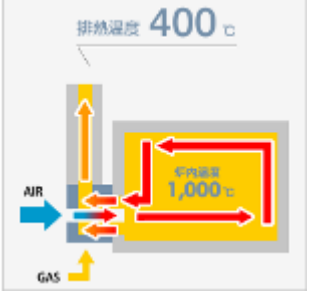
昇温・均熱を実現するノズル

エコムT6アルミ熱処理炉



アルミ熱処理の最適条件を探りたい！そんなニーズがあるお客様は、エコム熱処理ワークテストセンターまでご依頼ください！！

燃料節約率35%以上のバーナーです



こんな簡単な工事で、こんなに省エネ実現しました！

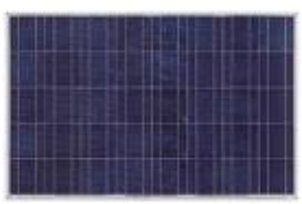
例えば炉体に断熱材を貼り付けただけでも、大きなコストダウンに結びつきます。断熱効果により、炉体の放散熱量を削減できるので、使用エネルギー量を削減することができます。そしてエコムの強みは設備と工事・点検、全てに対応できること。お気軽にエコム担当者までお声かけください。



「工事はオレに任せろ！」
と意気込む野牧氏

熱処理ワークテスト職人の語り

エコムは4台ものテスト炉を保有する、熱処理ワークテストセンターを保有している。そしてエコムのテストセンターには様々なワークが持ち込まれる。今回は太陽電池用特殊フィルムだ。「いやあ、短時間で昇温させる条件出しが大変でした」ワークテスト職人 川村マイスターは語る。「遠赤ヒーターの温度、距離、熱源容量、波長、これらの最適条件を探ります」しかしどうやら川村マイスター、今回のテストも成功のようだ。さあ、次回のワークは何だ？(次回に続く)



最近お問い合わせが多いソーラーパネル関連技術



入念にテスト炉で熱処理ワークテストの準備をする川村マイスター